

研究室: 聖アンドレ館10階1022号室

オフィスマーク: 火曜日16時45分~17時30分、金曜日16時45分~17時30分

メールアドレス:

授業形態

『講義』 『アクティブラーニング』

講義・演習概要

この講義では、大航海時代から国連が設立されるまでの世界史を国際機構の視点で概観します。

グローバリゼーションが始まったのは20世紀後半ではなく、大航海時代からです。グローバリゼーション(globalization)の語源は、「球、球体」を意味するグローブ(globe)です。1492年、大地が球体との説を信じたコロンブスが西方航海に出発し、アメリカを発見しました。一方、「世界」と「国際」は意味が異なります。国際社会はいつ頃に誕生したのでしょうか。人類が国際機構の必要性を感じた理由は何でしょうか。この講義を通じて、一緒に考えていきましょう。

この講義の第2回から第4回は国際法Aおよび地域研究IAの一部と似ていますが、国際機構論の視点から考えていく必要があります。講義冒頭には、国内外のメディアのホームページを用いて、メディア・リテラシーも学びます。

学習(到達)目標

- ①国際社会が成立する歴史的過程(大航海時代以降)を理解する。
- ②国連以前の国際機構に関する基礎知識を修得する。
- ③国際問題の理解に必要な一般教養、とくに歴史・地理・文化・宗教を修得する。
- ④メディア・リテラシーを身につける。

講義・演習計画

【第1回】 国際機構とは何か	
【第2回】 国際機構の歴史(1) 大航海時代、宗教改革、三十年戦争	
【第3回】 国際機構の歴史(2) フランス革命とナポレオン戦争	
【第4回】 国際機構の歴史(3) ハーグ平和会議と赤十字国際委員会	
【第5回】 第一次世界大戦(1) サラエボ事件	
【第6回】 第一次世界大戦(2) 近代兵器の登場	
【第7回】 第一次世界大戦(3) パリ講和会議と国際連盟の設立	
【第8回】 国際連盟(1) 国際連盟規約	
【第9回】 国際連盟(2) 大国の不参加	
【第10回】 国際連盟(3) 制裁の欠如	
【第11回】 ファシズムの台頭と第二次世界大戦の勃発	
【第12回】 国連の設立(1) 「四つの自由」演説と大西洋憲章	
【第13回】 国連の設立(2) ダンバートン・オークス提案	
【第14回】 国連の設立(3) サンフランシスコ会議と国連憲章の採択	
【第15回】 まとめ、期末試験	

成績評価の方法

試験	100%	レポート	その他	
コメント	試験3回(25%、25%、50%)で決定します。最初の2回は抜き打ちで行います。詳細は第1回授業で発表します。			

テキスト

著書	成美堂出版編集部編	タイトル	一冊でわかるイラストでわかる図解世界史
ISBN	978-4415103334	出版社	成美堂出版
教科書購入区分	大学オンライン販売	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	

参考文献

- 横田洋三監修『入門 国際機構』法律文化社、2016年
篠原初枝『国際連盟』中央公論新社、2010年
最上敏樹『国連とアメリカ』岩波書店、2005年
庄司克宏『欧州ボリューム』筑摩書房、2018年
小川浩之他『国際政治史: 主権国家体系のあゆみ』有斐閣、2018年
北村厚『教養のグローバル・ヒストリー: 大人のための世界史入門』ミネルヴァ書房、2018年
国際連合広報局編『国際連合の基礎知識』第42版、関西学院大学総合政策学部、2018年

事前および事後学習の指示 (事前学習 30 時間・事後学習 30 時間)

毎回の授業で指示される参考文献や参考URLをもとに、事前および事後学習をしてください。

その他備考(担当教員用)

教科書は毎回使います。

キーワード

国際機構、世界史、国際連盟、国連

備考(管理者用)

(旧:国際機構論)02~19E-SS-SW-B-L-J

